

# 新年あけましておめでとうございます

## 今年は酉年、羽ばたきます

福井博一 岐阜大学応用生物科学部園芸学研究室 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

Facebookを検索してください。 E-mail [fukui@gifu-u.ac.jp](mailto:fukui@gifu-u.ac.jp) <http://www1.gifu-u.ac.jp/~fukui/index.html>

学部長補佐から始まって、教学委員長、副学部長、学部長と十数年にわたった学部運営の任務がようやく終了します。地方大学の極めて厳しい状況のなかで、岐阜大学応用生物科学部の社会的評価は着実に向上してきています。尾長鶏の尾羽のように、岐阜高等農林学校以来90年以上の伝統を引き継いで発展する応用生物科学部をよろしく願います。

32年の大学教員生活の中、最後の十数年を実学「園芸学」とは大きくかけ離れた世界で過ごしました。大学というゲージの中に囲まれるプロイラーのような生活でした。鶏といえども鳥ですから飛ぶ羽は持っていますが、飛ぶことを許されない日々を過ごさざるを得ませんでした。さあ、定年までの3年間、思い残すことのないよう大きく羽ばたいて、園芸業界の将来の発展に尽くしたいと思います。

これからの3年間は「鶏の羽」ではなくて「ペガサスの翼」で羽ばたきたいと思っています。30年の経験を活かして、「福井しか出来ない」といわれる大学人として出来る限りの活動をしたいと思っています。

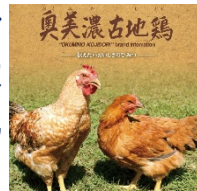
ファストフードの唐揚げ、イケナイと思いながらも食欲を誘われますが、輸入物に頼っている地域産業が廃れてしまいます。

とはいっても、チャボのような小心者です。軍鶏のように戦う姿勢も見せなければとも思っていますが、なかなか思うようには行動できません。定年までの3年間は、一応給料の範囲内で大学の仕事もこなすつもりです。積み残したことも色々ありますので…。私の信念の一つです。『「農学栄えて農業減ぶ」ことを繰り返してはいけない。産業が廃れば、それを支える学問も廃れます。園芸学こそ農学の真髄です。国内の園芸産業を支える園芸学者でありたい。』

地域の活性化を支える地域の中核大学を自認する岐阜大学の教員として、本年も精一杯頑張りたいと思います。皆様からのご指導ご鞭撻の程、よろしく願います。平成29年1月元旦



とはいえ、「イカロスの翼」のように思い上がった行動はいたしません。私の役割は「地域の園芸産業活性化の支援」です。お声を掛けていただければ、どこにでも出かけます。



地域には魅力がたくさん眠っています。的確なマーケティングに加えて需要を満たす生産量も重要です。全国的には名古屋コーチンの方が有名ですが、奥美濃古地鶏のような宝物も眠っています。

